



# なんも・なんも



## 考えてみませんか？“共生型社会”—オリ・パラを契機に

### ～1972年札幌オリンピック開催時から高齢化も急速に進展～



7月から9月にかけて開催された『東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会』。コロナ禍での開催に、賛否両論はありながらも、たゆまぬ努力を重ね、ひたむきに競技に臨む選手の姿に、勇気と感動を覚えた人も多いのではないのでしょうか。

南区は、1972年の札幌オリンピック(第11回オリンピック冬季競技大会)とゆかりの深い地でもあります。当時から半世紀の時代の変遷に思いを馳せながら、オリンピック・パラリンピックを機に、“共生型社会”について考えるきっかけにしてみてもはどうでしょうか？この間に、高齢化も著しく進みました。障がい者も、高齢者も、老若男女、年齢・性別・国籍を問わず、誰もがその人らしく、住み慣れた地域で安心して暮らせる社会へ。

そのために、身近でできることはないか？「社会的障壁」となっている事柄はないか？

—そんな小さな思いやりの優しい気持ちで、この「生活支援体制整備事業」の原動力になります。

◎生活支援体制整備事業とは「生活」を「支える・応援」する「体制」を、「整備」していく「事業」です。

## 真駒内地区

市立札幌みなみの杜  
高等支援学校  
「元気もり杜体操」  
(6/3)



真駒内あけぼの団地  
「認知症講座」  
(URコミュニティ北海道  
住まいセンター主催、  
7/15)



真駒内泉町F団地自治会  
「F団地交流サロン・フ  
レンドリー」(7/17)

気にかける、身近な「つながり」を教えてください

## 活動状況&地域の皆様へ

5月以降、星野の後任で、真駒内・藻岩下地区を担当している阿部めぐみです。コロナ禍での制約の中ではありますが、各種会合や集まりの場にも、訪問させていただいており、大変お世話になっております。



長引くコロナ禍で、集まりや通いの場の自粛が続く中、より小単位でのつながりの大切さが見直されています(電話やおすそ分け、手紙、外に出るの仲間との体操やウォーキングなど)。さり気なくお互いを気にかける“つながり”の模範となるような取り組み(「地域の宝」)を紹介し、地域にネットワークが広がっていくよう、広報誌やHPを通じ、情報発信していければと考えております。是非、身近な取り組みを教えてください！

町内会・自治会役員、民生委員やサロンのリーダー等の皆様を中心に、近隣の高齢者の暮らしぶりを見つめる中で、「こんな気づき(課題)がある」「よいお互い様の活動がある」など、気軽に、下記・連絡先まで、情報をお寄せいただければ幸いです。情報交換しながら、困りごとに対しては、方向性を見出すためのお手伝いをさせていただきたいと思っております。

## 藻岩下地区



藻岩下第4町内会  
野良猫対策“TNR活動”説明会(7/28)

藻岩下地区福祉の  
まち推進センター  
8月定例会(8/27)

地域に生活支援のネットワーク



HPにて「訪問記」  
掲載中。PCやスマ  
ホでアクセスしてみ  
て下さい！

【発行・お問い合わせ先】

札幌市南区社会福祉協議会 南区第3エリア(真駒内・藻岩下地区)担当 生活支援推進員 阿部めぐみ

〒005-8612 札幌市南区真駒内幸町2丁目2-1 南区役所3階 TEL (011)582-2415 FAX (011)582-7370